

平成27年6月29日

広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設  
第33回 季例会・公開講演会  
—宮島のシカとヒトの関係を探る—

広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設では、第33回「季例会・公開講演会」を下記のとおり開催します。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来聴ください。

記

【日時】 平成27年7月6日（月）13：30～15：30

【場所】 文学研究科 大会議室（東広島キャンパス 文学研究科講義棟1階）

【講師】 笛吹 理絵 氏  
（広島大学大学院生物圏科学研究科 博士課程後期）

【演題】 宮島のシカとヒトの関係を探る

【メッセージ】

2014年より宮島におけるヒトとシカの関係性についての研究を開始しました。かつては神の島の一部として大切にされてきたシカですが、観光が盛んになり、現在では世界的に知られる観光地として発展した宮島において、ヒトとシカの関係はどのように変遷してきたのでしょうか？ また、ヒトとシカ双方にとって望ましい関係とはどのようなものなのでしょうか？

まだ駆け出しの研究ではありますが、私自身がこれまでに体験したエピソードを踏まえつつお話しします。

【参加費】 無 料 ※予約の必要はありません。

【お問い合わせ先】

広島大学大学院文学研究科 中山研究室  
TEL: 082-424-6641  
E-mail: tomihira@hiroshima-u.ac.jp

# 第33回 季例会・公開講演会

宮島のシカとヒトの関係を探る



平成27年

日時： 7月6日 月 13:30～15:30

無料

場所：文学研究科（文学部）

1階 大会議室

講師：広島大学大学院

生物圏科学研究科博士課程後期

笛吹理絵氏

【メッセージ】2014年より宮島におけるヒトとシカの関係性についての研究を開始しました。かつては神の島の一部として大切にされてきたシカですが、観光が盛んになり、現在では世界的に知られる観光地として発展した宮島において、ヒトとシカの関係はどのように変遷してきたのでしょうか？ また、ヒトとシカ双方にとって望ましい関係とはどのようなものなのでしょうか？

まだ駆け出しの研究ではありますが、私自身がこれまでに体験したエピソードを踏まえつつお話しします。